

5月度座談会

開目抄

*** * 地区**

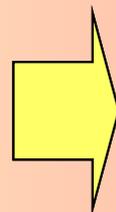
背景と大意

- 文永9年2月 51歳 佐渡・塚原
- 対告衆 弟子一同（四条金吾）
- 一切衆生の「目を開く」書である
- 不退転の心で戦う心が肝要
- 疑う心がなければ成仏できる
- 大事な時こそ決意して戦うべき

我並びに我が弟子

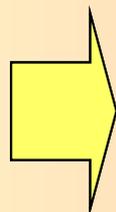
「弟子よ**我と共に**戦おう！」
との**師弟不二**の呼びかけ

疑う心なくば



絶対の確信

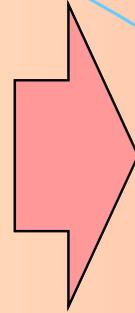
自然に
仏界に



**師弟不二・絶対の
確信**が成仏の因

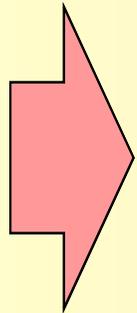
天の加護

諸天の加護
がない



試練の時

三類の強敵・第六天の魔王は必然

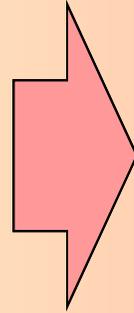


「難即悟達」の闘争
法華經の行者の証明

難こそ宿命転換の好機

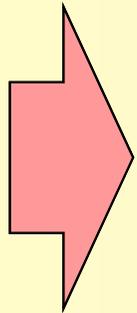
まことの時

最も大切な
まことの時



師弟の約束
肝心の時

まことの時はいつなのか？



自身の決意こそまことの時

宿命を不屈の信心で乗越えよ！

指導から

- 苦難は人間を強くする。
- 難に挑戦して信心を鍛えよ
- つたなき者になってはならない。
- 仏法の真髓は「信」即成仏である

師弟不二を貫き
真の勝利へ前進